

第 51 回合唱コンクール とてもハイレベルな演奏でした！！

第 51 回遺愛女子中学高等学校合唱コンクールが 7 月 14 日（金）遺愛アリーナで開催されました。当日は、最高気温 30℃でしたが、エアコンがきいている快適なアリーナで、各クラスが 1 ヶ月以上前から、一生懸命練習して培った力をとてもよく発揮していました。

遺愛の合唱コンクールでは、課題曲として中 1・高 1 は校歌、中 2・中 3 は讃美歌 467 番、高 2 は讃美歌 270 番、高 3 は讃美歌 338 番を歌い、そして自由曲を合唱します。毎年、学年の課題曲は同じなので、コンクールに向けての練習で、中 1・高 1 では、しっかりと校歌をおぼえますし、いつでもハモルことができる讃美歌が、心に刻まれることとなります。いずれ同窓会でも、ハレルヤコーラス、校歌とともに、これらの讃美歌が歌われることになると思います。それぞれの人生において、その歌詞が心の支えになる時がやってくると思います。

結果は、金賞を中学校は 1 クラス、高 1 は 3 クラス、高 2 は 4 クラス、高 3 は 7 クラスが受賞しました。高校 3 年生について全クラスが金賞受賞というのは、遺愛合唱コンクール史上初めての快挙でした。どのクラスの演奏も本当に素晴らしく、とても感動しました。

審査員は、北海道教育大学名誉教授で作曲家の佐々木茂先生、遺愛の卒業生で、東京に在住しながら東京と函館で、音楽活動をしている声楽家の皆方純子先生、函館音楽協会会長・函館市文化団体協議会会長などを歴任し、嘱託で遺愛吹奏楽局の指導を下さっている宍戸雄一先生の 3 人が担当して下さいました。佐々木先生、皆方先生は、遺愛の合唱コンクールを審査するのは初めてでしたが、レベルの高さに本当に驚いていました。お世辞抜きに、本音で、素晴らしいとおっしゃっていました。当日は、保護者の方もたくさんいらして下さいました。ありがとうございました。

2017 年 7 月 18 日（火）



中学生の合唱



高校生の合唱



コンクール終了後
音楽部の合唱